

佐世保工業の生徒の実習を全力支援

建協加盟の10企業が協力



斜面地の狭隘(きょうあい)な状況下で
難しい作業を伴う現場



測量実習に余念が無い高校生ら

(社)長崎県建設業協会(谷村隆三会長)が県内の工業高校の生徒を工事現場に受け入れ、業務を体験させる現場実習が佐世保地区で4日から6日まで行われた。

協会では、工業高校生に実際に施工を行っている現場を体験させることで、将来への就業意欲や勉学への関心を持たせる観点から、毎年この時期に生徒を受け入れているもので、高校側からも高い評価を受けている。今回は県立佐世保工業高校土木科の2年生38人が、佐世保管内の10カ所で実習を受けた。

金納建設(株)(金納慶太代表取締役)が施工を行っている波佐見町永尾郷では、サヤノ御前地区予防治山工事の現場に高校生3人が現場入りし、主に測量業務の実習。初日は新規入場者教育を受けてから現場視察を行い、同現場の工事責任者である松山博之氏から工事の概要について説明。その後、生徒らは実際の業務である基本測量や水準測量などを体験。松山氏のアドバイスの声が飛ぶ中、真剣な表情で取り組んでいた。

実習を受けた生徒の一人は「現場は緊張感があり身が引き締まる。今回の体験を忘れず、これからも努力したい」と感想を語った。また、松山氏も「彼らは、3日間まじめに実習を受けていた。今後、見て学んだことを生かして欲しい」と述べた。

今回、管内の工事現場に生徒を受け入れた各企業は次の通り(順不同)。

▽(株)西日本建設▽若狭建設(株)▽(株)朽原建設▽(株)平成建設▽西部道路(株)▽(株)橋組▽(株)トモダ
▽金納建設(株)▽西海建設(株)・(株)トモダJV▽(株)堀内組